



かわいい踊りをリズムにのって🎵

いきいきとした町づくりをめざして

議会だより かつうら

No.25

2003.11.1 発行

発行 徳島県勝浦町議会
編集 議会広報調査特別委員会

〒771-4395 徳島県勝浦郡勝浦町久国
TEL (08854) 2 - 2511

生ごみ処理機に580万円——2

常任委員会の活動——4

ケーブルテレビで住民サービス——5

10議員の一般質問——6

雪や花火に感動——16

万円を可決

34億3,400万円に

9月定例会

補正の主なもの

農林水産業費 **3,016万円**

- ・今山げき補修費 1,156万円
- ・県単地域農業振興事業補助金 963万円

災害復旧費 **6,940万円**

- ・台風9号と10号による道路、河川、耕地災害

衛生費 **634万円**

- ・生ごみ処理機2台など

生ごみ処理機に五百八十万円

(病院、給食センター)

九月定例会は九月九日から二十五日までの十七日間開かれ、各会計の補正予算、自然環境保全条例など十議案を審議し、全員一致で可決しました。また、十四年度の各会計、歳入、歳出決算認定については、総務常任委員会に付託しました。

一般質問は十人が登壇し活発な議論が行われました。

議案に対する主な質疑

教職員住宅廃止に関する条例

問

教員住宅を廃止し、単独住宅にすると言うが、今後、教員が希望した時の対応は。

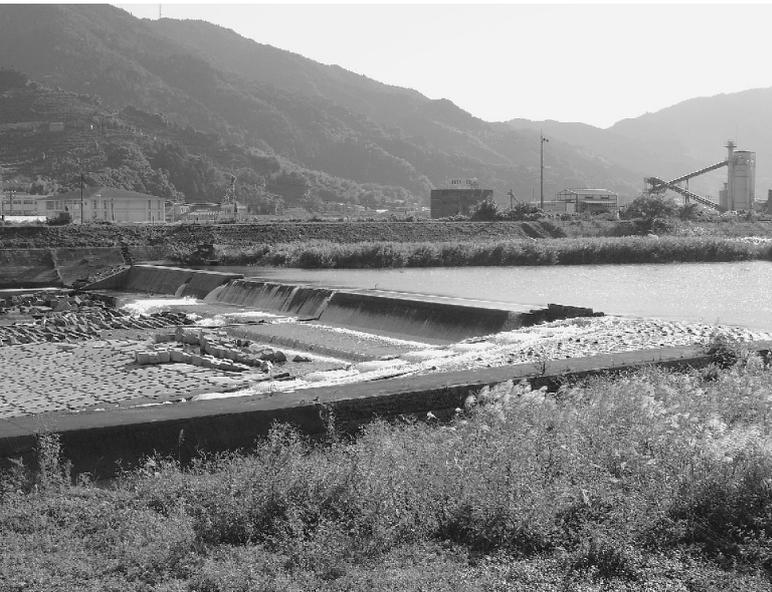
答

教育委員会事務局長 空き室がある場合は優先的に入居できるが、満室の時は本人に入居

先を探してもらうことになる。

15年度補正予算

1億1,000
総額



前年に続いて改修される今山せき

自然環境保全条例

このような内容です

自然環境を守るため、開発業者などが事業を行う場合、事前に町長に協議しなければならぬ地域を指定する条例

問

環境保全審議会のメンバーとして議員、学識経験者、団体の代表者となっているが、町内外を問わず自然環境に詳しい人を入れては。

答

住民課長 町外の人も含め考えている。

行財政改革大綱見直し

問

住民代表による行政改革調査会委員は、今までの人をお願いするの

答

総務課長 基本的には今までの委員六人であるが、新しい人も参加してもらいたいと思っている。

町道路線認定

生名石垣線、棚野西久保支線、坂内谷栄田線など、六路線の認定に同意しました。

固定資産評価審査委員

幸山善己氏（棚野）の選任に同意しました。

合併特別委員会

十月十五日に委員会を開き、県地域振興局の横納課長補佐から、県内の合併動向などについて説明を受けました。

議会としては、十一月

十三日に国の地方制度調査会の答申が出されるので、その内容を見た上で本格的な活動を開始することを決定しました。

地方制度調査会の答申待ち

産業建設

財政難で無理 畑総事業の町移管

九月四日に委員会を開き、十五年度補正予算や町道の認定などについて説明があり審議しました。

問 借入金を完済した時点で、町に移管する約束であったが、町

答 町長 財政難で町単独では維持できない。

委員会で決定できないので全員協議会で審議するよう申し入れました。建設課長から 補正予算八千四百七十七万円についての内容説明がありました。

問 災害の内訳と査定率は。

答 建設課長 道路、河川災害が二十九カ所、耕地災害が五カ所で、査定率は七十五%と八十%である。

産業振興課長から 補正予算についての説明がありました。

問 緊急地域雇用創出特別基金事業とは。

答 産業振興課長 市民農園予定地（勝高実習園跡地）の枝打ち、測量などの人件費が主である。



台風による災害現場

問 森林整備支援事業費の補助率は。

答 産業振興課長 面積は五百haで四分の三が国の補助金である。事業は森林組合に委託している。委員会として 九月定例会の提案を認めました。

上告棄却

広域農道損害賠償事件

建設課長から 立石正一氏が高裁の判決を不服として最高裁に上告していたが、上告棄却の判決が出て決着したとの報告がありました。

活動報告

一般町民も入居可能に (旧教員住宅)

九月三日委員会を開き、十五年度補正予算と勝浦町単独住宅の設置及び管理に関する条例、勝浦町自然環境保全条例の案が示され審議しました。

問 住民課長から 教員住宅を「公営住宅法」の規定により、町単独住宅として一般に賃貸するための条例であるとの説明があり、委員が現地踏査してから審議しました。

答 西岡・中山、それぞれに改修は必要と思うかどうかの程度なのか。また、家賃は。

問 住民課長 西岡・中山、それぞれに改修は必要と思うかどうかの程度なのか。また、家賃は。

環境保全 条例案を 審議

住民課長から 町民の貴重な水源かん養地区をはじめ、勝浦町の豊かで良好な自然環境の保全を総合的に推進するための条例であるとの説明がありました。



委員会の現地調査（旧教員住宅）

問 町全体を地域指定はできないと思う。どのような方法で指定するのか。

答 住民課長 委員十人以上で組織した審議委員会が調査し審議して、町長が地域指定をする。

問 審議委員十人では少ないのではないか。

答 住民課長 九月議会までによく検討したい。

委員会として 九月定例会での提案を認めました。

総務

町財政19年度 8億3,500万円不足を想定

八月七日、九月一日に委員会を開き、補正予算、固定資産評価審査委員会委員の選任や財政の中期見通し、外国語指導助手の招致報告等の説明があり審議しました。

財政見通し 平成十九年度に 最悪の状態に

総務課長補佐から「平成十四年度決算、十五年度予算などの諸条件を前提にこのまま推移した場合、どのような収支になるかを六年間にわたり試算した結果、平成十六・七年度はゼロ、十八年度からマイナスとなり、十九年度は歳入



Do You Understand?

歳出の割合がマイナス八億三千五百万円が想定されるとの説明がありました。

問 合併した場合と、しない場合を試算した方が住民に説明しやすいのではないか。

答 課長補佐 合併の相手により違ってくるので正確な数字が出せない。委員会として 合併の選択は、住民に直接関係のある焼却場や保険料などを例に説明をする方が良くと要望し、了承しました。

なお補正予算、固定資産評価審査委員会委員の選任などを九月議会に提案することに同意しました。

委員会の

総務委員会 視察報告



急がれるデジタル化への対応

総務委員会は、九月三十日から三日間、愛知県額田町の町おこしへの取り組み、静岡県浜岡町で、ケーブルテレビの視察、研修を行いました。
浜岡町は、遠州灘に面した戸数七千四百戸の農業、漁業、そして原子力発電所が町の中心部にあり、年間五十億円もの固定資産税収入がある原発の町です。現在、五千五百戸がケーブルテレビに加入しています。各家庭と役場などを光ファイバーで結び、従来の放送や地域に密着した自主放送、BS、CSの専門多チャンネルサービスを行うほ

ケーブルテレビで住民サービス

原発のまち 浜岡

か、情報等の通信サービスを提供するCATVフルサービスを目指しています。勝浦町も二十一年のデジタル化に向けて、早期の対応が迫られています。

町おこしへの積極的な取り組み

愛知県額田町^{ぬかた}

額田町は都市近郊農村で、面積の八十六％を森林で占められています。かけがえのない自然を守り、都市との交流を深めようと、町民の間でふる里づくりの取り組みを始めました。役場の裏山七十haに桜やモミジを植えて、町のシンボルの里山に育てる一方で、築三百年もたつ旧家をボランティアで修復し、都会の人の「田舎暮らしの体験施設」としてよみがえらせました。この他にも二十余りのボランティア団体が行政と一体となって、ふる里づくりに取り組んでいます。町長は、「住民参加の町づくりは、ふる里に愛着をもってもらうことが大切だ」と力説されました。

市町村合併

アンケートの結果を

どう受け止めるか

尊重し今後に生かしたい（町長）

森 健議員



問 アンケート調査に協力した町民にとっては、結果に対する町の対応に関心を持っているが、見解と今後の取り組みは。

答 町長 上勝町、小松島市との合併を望む人が最も多く、他の枠組みも接近し予測した範囲内であった。結果を尊重し慎重に議論を重ね方向を示したい。

一年前倒して練り直すなど大変厳しい状況である。時代の流れに対応し、総合的な判断の中で取り組んでいく。

沼江バイパス第二工区 どうなっているのか

問 地権者は協力書を提出し、町や地元代表者などが徳島土木事務所に陳情するなど、大

変な努力をしてきた。合併協議会の解散や知事の交代があったが、その後一体どうなっているのか。
答 町長 一市四町の合併協議では最重要事業として県に要請していたが、合併は失敗に終わった。県の財政も厳しいようだが、工法等も見直す中で前向きに推進の要請をしていきたい。用地の確保については、地元の協力をお願いしたい。



どうなっているのか沼江バイパス



渋滞する家台中山線

答 石尾建設課長 県は町、地元と協議するなかで早期完成に向け取り組んでいく考えであるが、町としてもなお一層の努力をしたい。

町道家台中山線 一日も早い改良を

機能が損われている。一日も早い改良を。
答 町長 予算の許す範囲で前向きに改良してきたが、バイパスの全線開通が遅れ、停滞していることは認識している。今後も、財源を見ながら重点地域から改良できるように取り組む。

問 道幅も狭く、朝晩には交通量が増え渋滞し、生活道としての

小学校入学まで

医療費の無料化を

慎重に対応したい（町長）

井出美智子 議員



り、三百三十万円程度の一般財源が必要となる。状況を見ながら検討していきたい。

問 上勝町や佐那河内村では実施されている。勝浦町も実施して子育て支援を強化してはどうか。

答 町長 財政が厳しいので、慎重に対応していく。

元氣回復事業の

実施を

問 在宅での介護は、家族に負担が大きいのしかかっている。家族を介護から一時的に解放し、宿泊、日帰り旅行、施設見学など心身の元氣回復を図るための事業がある。実施してはどうか。

答 光井福祉課長 希望があれば新年度から取り組んでみたい。

問 年額一人あたり上限二万五千円で国と県の補助があるので「希望があれば」という

取り組みに終わらせないで積極的に取り組んでは。光井福祉課長 要介護者を預けて出かねければならないため、他町村では実施しても利用しにくい実態のようだ。シヨートステイの活用など、できるだけ利用しやすい形で取り組んでいきたい。



医療費の無料化を



元氣回復事業の実施を

男女共同参画の

計画は

問 昨年三月に制定された「徳島県男女共同参画条例」に基づいて、町の計画はできてい

るのか。

答 山平住民課長 町の計画策定は努力義務となっており、県の計画の範囲で取り組んでいく。

市町村合併

もっと議論を

尽すべきでは

問 一市四町の法定協議会が解散した経過について、住民への説明会を開く考えはあるのか。

答 戸川総務課長 広報、合併協議会だ

よりなどを通じて情報提供に努めてきた。

答 町長 住民への説明は当然必要と理解している。今回のアンケート結果の報告とともに、住民への説明会を開いていきたい。

問 アンケートの取り方がおかしいという町民の意見がある。何のためにアンケートを行ったのか。

答 町長 町民の合併に対する考え方を知るためのアンケートである。

問 「財政が破綻してやっていけない」ということだけを問題にするのではなく、もっと町民に情報提供をする必要がある。

答 助役 町民のための合併なので、説明会にはできるだけわかりやすい資料を提供していきたい。

問 今の子どもたちは三人に一人がアトピーや気管支ぜん息などのアレルギー疾患にかかっている。子育て中の親にとって医療費の負担は大きい。未来を担う子どもたちを安心して育てられるよう、小学校に入学するまでの医療費を無料にしてはどうか。

答 光井福祉課長 二歳引き上げると新たに百人近くが対象とな

厳しい財政の中期見通しに どう対応するのか

行革と合併は避けられない（助役）

大西 一司 議員



市町村合併は 法期限内に

問 財政の中期見通しやアンケート結果を踏まえ、合併は法期限内にすべきと思うが。

答 町長 アンケート結果を重視し、議

会とも協議しながら総合的な判断の中で慎重に進めていく。

中小企業対策 連鎖倒産を防ぐ 救済措置は

問 六月と七月に県内大手建設会社が民事再生法を申請したが、町内の関連した会社に融資制度など支援策はないか。

答 国清産業振興課長 金融相談や経営安

定関連の保障制度があり、申請があった債権者は活用している。大幅に売り上げが減少した中小企業法の五号適用業者には、申請があれば中小企業の保険法規定の範囲で対応していきたい。

問 大手企業は民事再生法が決定すれば再生できるが、下請けの小さな企業にはその法律に見合う恩典はない。大手企業と同様の救済措置がとれるよう、国・県に要望すべきだ。

答 町長 よく勉強し検討してみたい。

いじめ、不登校は ないか

問 県教委の発表によると、昨年度の県内のいじめや不登校は前年度より少なくなっているが、本町の現状と対策は。

答 また、学校週五日制は一年が経過したが、問題点とその対応は。

答 教育長 いじめは現在ない。不登校の生徒は一人いるが、先生が家庭訪問して、勉強

県道の 二車線化を急げ

や生活面での相談に乗ったり、スクールカウンセラー等の専門家の指導を受けている。五日制は授業数が少ないので、学力が低下しないよう始業式、終業式にも授業をしている。

答 石尾建設課長 現在、沖野地区と長柱地区で改良工事が進んでいる。平成十六年十二月頃に完了予定である。今後、飯谷地区で二十四メートルほどの改良工事の計画がある。

問 県道徳島―上那賀線の完全二車線化は町民にとって長年の夢であり悲願だ。工事の進



部分改良が進む沖野工区



連鎖倒産を防ぐ救済措置は

問 平成十三年度から二十年度までの財政見通しでは、地方交付税が大幅に減額され、財政調整基金も十八年度で残額ゼロとなり、十九年度から赤字財政となると試算しているが、その認識と対応は。

答 助役 厳しい見通しだが、現状を打開するには行財政改革を進めると共に、市町村合併も避けて通れないと認識している。

広域ごみ処理計画の見直しを

その方向も視野に入れ取り組む

(町長)

松田 貴志 議員



新しい処理計画を住民と共に考え、策定し直してはどうか。

答 町長 東部一ブロッツ内の各市町村それぞれに問題があり、何も決まっていない。問題解決に向け、県主導で計画を推進するよう知事にも要望しているが、そういう方向も視野に入れながら取り組んでいく。

問 ごみの分別収集、リサイクル、減量化に対する住民の意識高揚を促すために、どのような方策をとっているか。

答 山平住民課長 ごみ減量化推進委員会において協議し、広報等により周知している。住民や事業者の協力できちんと分類できている。広域ごみ処理計画は勝浦町分別収集計画の意義に矛盾するうえ、多くの問題を抱えている。



住民の意識高揚を



環境美化に子どもたちも参加

答 山平住民課長 施設の中で保管され指導、助言ができない状況であり、変化があった場合は、県と綿密な連携を取りながら対応していきたい。

合併アンケート

若者の解答が

少ないのでは

問 一市四町合併協議会の解散をどのように受け止めているか。

答 町長 相手があることの難しさを認識し、失敗を一つの肥やしとして、今後の合併協議に生かしていく。

問 アンケート結果では、これからの勝浦を担う若者の解答が少ないが、どう思うか。

答 戸川総務課長 町の未来について幅広い年代の解答が得られると期待したが、このような結果になり残念である。

今後、地域説明会等を実施し補っていききたい。

問 小・中学校での環境問題に対する取り組みは。

答 坂井教育委員会事務局長 総合的な学習の時間や社会科の時間で勝浦川の水質調査、クリーンセンター及び汚水処理施設等の見学を実施している。

問 フジテック跡地に保管されている産業廃棄物をそのまま放置し続け、住民の生活に影響を及ぼすような事態になった時、町としてどのように対処するのか。

ボランティア活動とし

防災対策は万全か

一定の成果を上げている (総務課長)

森 敏治 議員



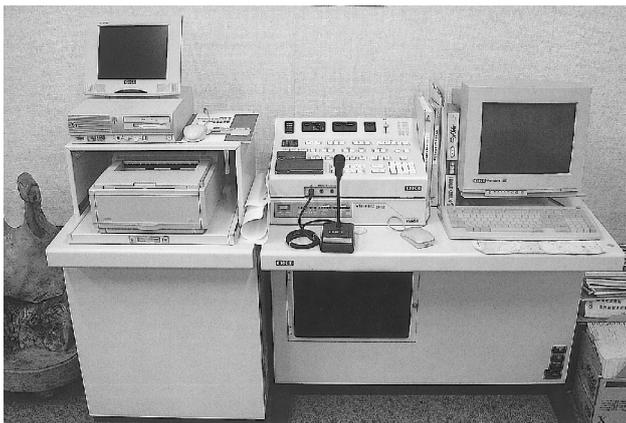
問 全国各地で防災訓練が行われているが、備えは万全か。

答 戸川総務課長 大地震が発生すればいろいろな災害が予測されるが、平成九年に防災計画を策定し、消防団員の配備等組織強化を図り一定の成果を上げている。畑総事業で百五十〜六百mmの導水管が設置されているが、地震に備え自主防災組織と連携し、現地踏査等、実態把握をすべきだ。

答 戸川総務課長 自主防災組織や、土地改良区と協議し、災害に備えマニュアルを作つて対応したい。

防災無線のやり替えを

問 情報伝達に支障が出ている防災無線



支障が出ている防災無線

子育て支援の充実を

を、財政難を理由に放つておけない。十二月議会に調査費を補正しては。 **答** 戸川総務課長 行財政改革大綱見直しの中で順位をつけて検討したい。

十五年度に計画を策定 (福祉課長)

問 若い世帯の経済的負担を軽減するため、総合的に調和のとれ

た子育て支援策を講じるべきだ。

答 光井福祉課長 延長保育、育児相談、児童保育の整備、医療費無料化の拡大や、沼江保育所跡地を活用するなど積極的に取り組んでいる。

また、十七年から次世代育成支援対策推進法が施行されるので、ニーズ調査を行い十五年度中に計画を策定し、子育て支援に取り組みたい。

町づくりに

風力発電の誘致を

問 町の活性化も期待でき、二酸化炭素を排出しない風力発電について調査検討し、実現に向けて努力しては。

答 国清産業振興課長 県企業局は平成九年度から県下で風強調査を行い、その結果、佐那河内が最適ということで平成十二年度に設置したが、他の地域では考えていないようである。立地条件が悪いので、ただ町おこしだけで調査研究に取り組めるかどうか

答 戸川総務課長 近隣町村と協議するなど、大きな行政課題として取り組んでいきたい。



クリーンエネルギーとして注目される風力発電

市町村合併 全力で取り組み

問 地方制度調査会の答申が出る前に情報を収集し、町の将来を見据え全力で取り組むべきだ。

答 町長 大きな行政課題が山積しているが、情報を収集しながら議会の意見も聞き、総合的な判断の中で頑張りたい。

デジタル化対策は

問 テレビ電波のデジタル化によって、関西からの電波が届かなくなる。広域的に取り組み住民の不安解消をすべきでは。

答 戸川総務課長 近隣町村と協議するなど、大きな行政課題として取り組んでいきたい。

地震対策

病院のマニユアルは

災害時には院長が指示（病院事務局長

川端雅夫議員



問 勝浦病院の防災対策マニユアルはできているのか。

答 幸野病院事務局長 防災計画を定めており、平日は病院長、休日は当直の医師が隊長となり、指示をだすことになっている。

問 スプリンクラーは設置されているのか。また、停電時には、ディーゼル発電がスムーズに稼働できるのか。



勝浦病院のディーゼル発電装置

答 幸野病院事務局長 スプリンクラーは設置していないが、火災時には消火栓で対応する。ディーゼル発電は今年七月に新しくして毎月点検をしている。

問 災害時には、どのような支援体制が取れるのか。

答 幸野病院事務局長 特養と協力関係を結んでおり、棚野、久国

地区の住民や、地元消防団にもお願いしていきたい。

不登校対策は

問 不登校生に対する取り組みの具体策は。

答 教育長 教員が家庭訪問や保護者の協力を得ながら、登校を促す電話や、教育相談センター等と連携をとり、指導している。また、小松島市に「はなみずき学級」という不登校生を指導する所があり、協力をお願いしている。

週五日制 授業時間の確保は

始業式や終業式にも授業（教育長）

問 県下の各学校はいろいろな方法で授業時間の確保をしているが、本町での対応は。

答 教育長 始業式、終業式の後で授業をするなどして対応している。

問 二期制の導入については、県下の状況を見ながら、先生と協議していきたいと思っている。

答 総合学習を取り入れたことで、生徒の学力の低下が心配されるが、

問 教育長 今の所、際立った低下はない。

行政改革大綱の見直しは

問 三月定例会で、大綱の見直しを一年



行政改革大綱見直しは何を重点に

問 早めて実施すると言ったが、何を重点に見直すのか。また、どのくらい節約できるのか。

答 町長 七月にプロジェクトチームを編成し、総合的に問題を煮詰めている最中である。

答 戸川総務課長 人件費の削減と、事務事業の見直しを重点的に作業をしている。金額にして、一億一千万円くらいになると思われる。

問 町長は自らの方向を示し、議会に説明すると共に住民説明会を開き、理解を得るのが筋と思うが。

答 町長 議会と十分に相談し、総合的に判断する中で地区説明会に回りたいと思っている。

問 町長 総合的に判断し、慎重に対応していきたい。

市町村合併 町長は方向を示すべきだ

市町村合併

法期限内にできるのか

合併できるよう努力する（町長）

福徳重二 議員



まだ相手も決まっていない状況で法期限内にできると思うか。

答 町長 調査結果を尊重し、町内各地区で説明会を開き、合併できるよう努力する。

簡易水道

町営化できるのか

段階的に取り組みたい（住民課長）

問 簡易水道組合は個別に維持管理をしてきたが、現在は各組合間に大きな差がある。町が管理運営するのは大変困難と思うか。

答 町長 簡易水道組合は個別に維持管理をしてきたが、現在は各組合間に大きな差がある。町が管理運営するのは大変困難と思うか。



組合間に大きな差がある簡易水道

答 山平住民課長 今までに組合長会議を開いてきたが、約半数の組合が「町営化して欲しい」との意見がある。将来、地震等の災害を考えると、早く意見調整をし、同意を得ながら段階的に町営化をしていきたい。

問 山平住民課長 今までに組合長会議を開いてきたが、約半数の組合が「町営化して欲しい」との意見がある。将来、地震等の災害を考えると、早く意見調整をし、同意を得ながら段階的に町営化をしていきたい。

住民基本台帳

ネットワークトラブルは

現在までではない（住民課長）

問 住民基本台帳ネットワークシステムに情報漏れなどトラブルがないというのをおかしい。あっても発見できないのではないか。

答 山平住民課長 情報センターでは、一時、つながりにくかった地域もあったが勝浦町では問題はない。住基カードの発行数は一枚だけである。

問 一枚しか発行していないというのはいないか。

答 山平住民課長 便利用は増えると思う。

問 このシステムそのものが必要でないということではないか。

答 山平住民課長 便利用は増えると思う。

人形会館の建設は

民間団体の力で（町長）

問 人形会館建設の請願が効力を失ったが、今後、どのような考えで望むのか。

答 町長 井戸端塾などの民間団体で考えて欲しい。行政としてもできる範囲で力添えをしたいと思っている。



利用者は増えるか住基カード

医療費一部自己負担の減免を

法に照らし処理する（税務課長）

原田昭三議員



作らなければならないのでは
ないか。

答 島税務課長 申請者の事情をよく聞いて実施していきたい。

また、要項については、

今後、よく勉強していきたい。

介護保険料

後期にかたよった

徴収になったのは

なぜ

問 介護保険料は今年四月から一号被保

険者で一千百六十円引き



医療費の減免 申請があれば

問 国民健康保険法の四十四条では、特別の理由のある被保険者で、医療費の一部負担が困難と認められるものに対して、減額、免除、あるいは徴収猶予ができることになっているが、どう取り扱っているのか。

答 島税務課長 今までに減免の申請はなかったが、申請があれば法律の趣旨に照らし、処理する必要があると考えている。

問 実施するには町としての取扱要項を

上げられたが、四月から徴収を行わないで、十月から引き上げ額の倍額を一挙に徴収することになったのはなぜか。

答 光井福祉課長 制度上の問題であり、町としても相談員が家庭訪問をしたり文書による周知も行い、制度の内容を理解してもらっている。

他の市町村においても問い合わせが殺到したと聞いているので、制度が改善されるよう県から国に依頼してもらおう働きかけをした。

老人高額医療費

手続きを

しなかった人への

対応は

問 高齢者に高額医療費自動振込の申請書を送っているが、手続きをしなかった人への対応は。

答 光井福祉課長 該当者には漏れがないよう再度通知をして、申請を出してもらうようにしている。



介護保険制度の改善を

分担金、負担金、補助金の削減を

問 分担金、負担金、補助金は二百五十万五項目あり三億円を超えている。見直しを行い削減すべきだ。

また、百八十万円の同和団体県町村会負担金は、今後、どのように削減していくのか。

答 町長 各項目ごとによく検討し、削減できるところは削減していきたい。

答 助役 同和団体県町村会負担金は、今までに三十三％削減できてきている。今後は、町村会と話し合っ

農家のニーズに合った補助事業を

新たなメニューも創設したい

(産業振興課長)

国清 栄 議員



有害鳥獣対策

駆除班に中山間の

集落関係者を

猟友会の意見を聞き検討

(産業振興課長)

問

中山間の集落関係者を含め、今回、

問 県単、町単を含めいろいろな補助金制度があり、意欲のある農家にとって大変ありがたいが、農家のニーズに合った新しい事業を取り入れるため、各生産者部会などの意見を聞く機会も必要と思うが。

答 国清産業振興課長 今後は、各部会や農業者の意見を聞きながら、予算の範囲内で新たなメニューも創設していきたい。



中山間関係者も有害鳥獣駆除班に

四十一人がハコワナの免許を取得した。これを機に有害鳥獣駆除班に各地区から一人は入ってもらうようにしている。

答

国清産業振興課長 町では平成十四年

度から有害鳥獣の駆除対策協議会を設置している。猟友会にもお願いし、中山間の関係者も入れてもらえるようにしたいと思っている。

営農アドバイザー

その後の見直しは

問

営農アドバイザーの後任に、お願い

している人がいるということだったが、どうなっているのか。

答

町長 JA等の退職者を予定していたが今のところ難しい状況である。県の退職者も視野に入れて探していきたい。

問

依頼しても断わられていたようだが、

事務的にはなく勝浦農業の再生を目指し、新たな方向を見いだしていくという強い気持ちで取り組んでもらいたい。

答

町長 良い人材が見つかるようできるだけ努力したい。

南海地震対策

住宅の対応も

積極的に

問

国による南海地震の対策推進地域に勝浦が指定されそうだ。

また、県は来年度から県有施設と市町村施設、個人住宅の三つの耐震化を積極的に進め、特に個人住宅は補強にも助成することだが、町の対応は。

答

山平住民課長 県では個人住宅の耐震診断に補助制度が設立される。国の補助もあるが、町や個人の負担が必要なので良く検討していきたい。

問

町の施設では特に老朽化した橋がある。早急に点検して優先順位をつけるべきだ。

答

町長 事業費に対してどのくらいの補助金が出るのか、町の財政と合わせて決めていきたい。順位については難しいと思っている。

市町村合併

現実的な方向とは

問

町長は、平成十七年三月までに合併

する場合は、現実的な方向も考えていかなければならないと答弁されたが、具体的にはどういう意味か。

答

町長 いろいろ議論の分かれるところであるが、より現実的となると議会とも相談しなければならぬが、勝浦郡内かなと思っ



個人住宅も地震対策を

地籍調査

三十五年は長すぎる

早く終わらせたいと希望はあるが町長

西浜勝己 議員



問 各地区で行っている地籍調査説明会の反応は。

答 石尾建設課長 説明会は十六カ所で行う計画で、現在、十四カ所が終了している。どの地区からも早く着手して欲しいとの要望が多い。

問 年間二百haの調査速度では、七千haある町内全てを完了するには三十五年間もかかるが、速度を速めることは

できないのか。

また、受け入れ態勢のできた地区から優先的に事業実施すべきと思うが。

答 町長 予算、人員、地区の協力などいろいろ問題がある。体制を整えばできるだけ早く終わらせたい気持ちだ。

答 石尾建設課長 一年に何地区も着手できないが、基本的には協力体制が整った地区から事業を実施したい。

自然環境保全条例

立川地区

最優先に指定を

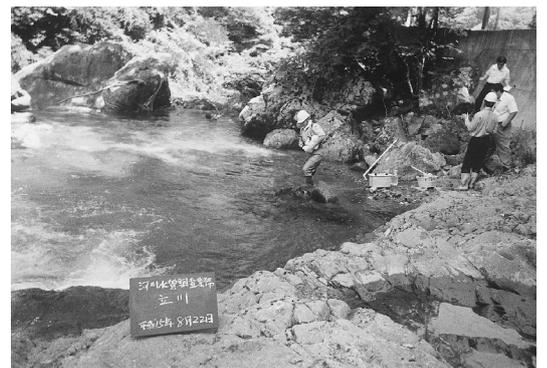
問 昨年八月、立川地区に町外の廃棄物処理業者が計画していた建設資材置場は、地元などの結束した反対運動で阻止することができた。

この貴重な体験から、今議会に環境保全条例案が提出されている。自然環境の保全と水源確保のため、立川地区を最優先に指定すべきでないか。

答 町長 地元や審議会の見解を聞き決定することになるが、立川地区は最優先に指定し



地籍調査が急がれる畑及び山林



立川地区「さくら淵」水質検査の結果は

たいと考えている。

問 立川谷「さくら淵」での水質検査の結果はいつ分かるのか。

答 山平住民課長 十月二十日ごろまでに報告できると思う。

男女共同参画事業 基本計画の 策定はいつ

早急に取り組んでも
かなりの時間か
(住民課長)

問 二十年の男女共同参画基本計画では、十一の重点項目を掲げ二千十年までの方向と、二

千五年までに実施する具体的な内容を示している。取り組みを急ぐべきだ。

答 山平住民課長 四年十二月に県の推進条例が制定されているが、それを参考にしているが、それを参考にしているが、それを取り組む必要がある。早急に取り組んでも今年度中にかかると思う。

町営住宅

管理運営は万全か

責任者として
より慎重に(町長)

問 教員住宅も含め町営住宅の入居問題で、町条例に違反してい

ることが発生していないか。

答 山平住民課長 長期家賃滞納者など条例に反する者が複数いる。徴収に努力したい。

答 町長 管理責任を感じている。今後は、より慎重に対処し万全を期したい。

市町村合併

これからの対応は

議案を相談しながら
慎重に
(町長)

問 住民アンケートでは上勝町や小松島市の結果とズレがあるがどう判断しているか。

また、枠組みによるメリット、デメリットなどを事務レベルで正確な資料を作り、住民の理解を得るべきと思うが。

答 町長 アンケート方法が同じでないで判断しにくいですが、合併が必要だと住民が多いところは同じだ。今後、事務サイドでの確な情報をつかみ、議会の指導を得ながら進めていきたい。

声のひろば



雪や花火に感動



豊井アナリザさん(棚野)

- Q** 故郷はどこなところですか。
A フィリピンのマニラからバスで四時間のサノセシティーという所です。
 山は低く田や畑もあり、勝浦町とあまり変わりません。
- Q** お仕事は。
A 家業の店を手伝っています。
- Q** 勝浦町に来て何年になりますか。
A 八年になります。
- Q** 現在のご家族は。



- Q** この町に来て驚いたことや感心したことは。
A 雪や花火に感動しました。
- Q** 勝浦町の印象は。
A 山や川が美しく、いろいろな催しがあり、ステキな町だと思います。
- Q** 母、主人、長女、長男の五人家族です。

- Q** 好きな言葉は。
A Paautin (頑張る)
- Q** 趣味は。
A ドライブ、ショッピング。
- Q** どんな夢を持っていますか。
A 子どもを立派に育てよい家庭を作りたいです。
- Q** 豊かな町になればよいと思いますか。
A 豊かな町になればよいと思います。



編集後記



天高く、馬肥ゆる秋
 若い頃にはごはんを何杯もおかわりしたものです。その時のおかずはとても貧しいものでした。
 今は飽食の時代で欲しいものは何でも食べられますが、年と共に、肥満を気にするようになってきました。それとは逆に、町の財政はやせ細るばかりで、合併が避けられない状況です。今議会の一般質問ではアンケートの結果を受けて、この問題を中心に十人の議員が町の考えをただしました。
 早いもので「議会だより」も二十五年となりました。議会や議会だよりについてみなさんのご意見やご感想をお寄せ頂く計画をしたいと思います。
 今後も、最新の議会情報をお届けできるように編集委員一同、頑張っていきます。
 (雅)